

プレスリリース

2018年10月19日

報道関係各位

公益財団法人 日本糖尿病財団
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本イーライリリー株式会社

ベーリンガーインゲルハイムとイーライリリー 糖尿病研究助成プログラムの助成金交付対象者決定 糖尿病領域での革新的な基礎研究を助成

公益財団法人 日本糖尿病財団（東京都文京区、理事長：岩本安彦 以下「日本糖尿病財団」と日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（東京都品川区、代表取締役社長：青野吉晃 以下「日本ベーリンガーインゲルハイム」）、日本イーライリリー株式会社（兵庫県神戸市、代表取締役社長：パトリック・ジョンソン 以下「日本イーライリリー」）は、本年7月2日から8月末日までの応募期間で募集していた糖尿病の基礎研究に関する助成プログラムの助成金交付対象者を、決定したことをお知らせ致します。

ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成プログラムは、糖尿病基礎研究のより一層の発展に貢献することを目的に、日本糖尿病財団と日本ベーリンガーインゲルハイム、日本イーライリリーにより設立されました。募集研究テーマは年度毎に検討され、本年度の募集テーマは、「糖尿病病態下における臓器連関に関する基礎研究」または「糖尿病病態下における老年症候群に関する基礎研究」です。

本年度は、全国から寄せられた29件の応募の中から、日本糖尿病財団選考委員会の厳正な審査および、理事会による最終選考の結果、下記3名の研究者が助成金交付対象者として選ばれました。助成金交付対象者には、研究課題1件につき300万円の助成金が交付されます。

第5回(平成30年度) ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成金交付対象者

氏名	所属	研究課題
土屋 恭一郎 (つちや きょういちろう)	山梨大学大学院 総合研究部 医学域 内科学講座第三教室 講師	肝プロスタシンを起点とした個体レベルにおける糖・脂質代謝の制御機構の解明と医学応用
長谷川 豊 (はせがわ ゆたか)	岩手医科大学 糖尿病代謝内分泌内科分野 特任講師	糖尿病病態下における褐色脂肪組織と臓器連関
山本 淳平 (やまもと じゅんぺい)	東北大学病院 糖尿病代謝科 助教	糖尿病病態下における神経を介した肝—膵臓器連関システムの時空間的解明

助成プログラムに関する情報は、日本糖尿病財団のホームページにてご確認ください。

<http://www.j-df.or.jp/grant.html>

参考情報

公益財団法人 日本糖尿病財団について

日本糖尿病財団は、平成3年9月に設立された厚生労働省認可の財団法人です。その後、公益法人改革に伴い、行政庁(内閣府)より公益財団法人の認可を得、平成25年4月1日に公益財団法人に移行しました。糖尿病に関する調査研究の実施及び助成、並びに糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動の実施及び助成、糖尿病に関する国際交流活動の実施及び助成、糖尿病に関する印刷物の刊行など、さまざまな事業を行い、もって国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

ベーリンガーインゲルハイムとイーライリリー・アンド・カンパニーの提携について

2011年1月、ベーリンガーインゲルハイムとイーライリリー・アンド・カンパニーは、糖尿病領域におけるアライアンスを結び、同領域において大型製品に成長することが期待される治療薬候補化合物を中心に協働していくことを発表しました。同アライアンスは、ベーリンガーインゲルハイムが持つ研究開発主導型イノベーションの確かな実績とイーライリリー・アンド・カンパニーが持つ糖尿病領域での革新的な研究、経験、先駆的な実績を合わせ、世界的製薬企業である両社の強みを最大限に活用するものです。この提携によって両社は、糖尿病患者ケアへのコミットメントを示し、患者さんのニーズに応えるべく協力しています。

ベーリンガーインゲルハイムについて

患者さんの健康と QOL(生活の質)を改善することは、研究開発主導型の製薬企業ベーリンガーインゲルハイムの使命です。私たちは治療選択肢が存在せず、未だ十分な治療法が確立していない疾患に焦点を合わせ、患者さんが健やかな生活を確保できる革新的な治療法の開発に専念しています。アニマルヘルスでは、先進的な病気の予防と早期発見・早期治療に注力しています。

ベーリンガーインゲルハイムは世界におけるトップ20製薬企業の1つで、1885年の設立以来、株式を公開しない企業形態を維持しています。約50,000人の社員が、医療用医薬品、アニマルヘルスおよびバイオ医薬品の3つの事業分野において、革新的な製品開発を通じた価値の創出に日々取り組んでいます。2017年度、ベーリンガーインゲルハイムは約181億ユーロの売上高を達成しました。研究開発費は30億ユーロを超え、売上高の17.0%に相当します。

株式を公開しない企業形態の特色を生かし、ベーリンガーインゲルハイムは世代を超え、長期的な成功を重視しています。したがって、私たちは、研究活動において、自社のリソースに加えて、オープンイノベーションと戦略的アライアンスを重視し持続的な成長を目指しています。ベーリンガーインゲルハイムは、私たちが関連するあらゆるリソースを尊重し、人類と環境に対する責任を果たしていきます。

イーライリリー・アンド・カンパニーの糖尿病事業について

イーライリリー・アンド・カンパニーは1923年に世界で初めてインスリン製剤を開発して以来、糖尿病ケアの分野において常に世界をリードしてきました。現在も、糖尿病をもつ人々やケアを行う人々の様々なニーズに応えることで、この伝統を築いています。研究開発や事業提携、拡大し続ける幅広い医薬品ポートフォリオ、そし

て、医薬品からサポートプログラムをはじめとする実質的なソリューションを提供し続けることを通じて、世界中の糖尿病をもつ人々の生活の改善に努めます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー・アンド・カンパニーは、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー・アンド・カンパニーは、1 世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー・アンド・カンパニーの従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.boehringer-ingenelheim.com>

(ベーリンガーインゲルハイム)

<http://www.boehringer-ingenelheim.jp>

(ベーリンガーインゲルハイムジャパン)

<http://www.lilly.com>

(イーライリリー・アンド・カンパニー)

<http://www.lilly.co.jp>

(日本イーライリリー)